

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【公開番号】特開2022-190333(P2022-190333A)

【公開日】令和4年12月26日(2022.12.26)

【年通号数】公開公報(特許)2022-238

【出願番号】特願2021-98607(P2021-98607)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月27日(2024.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機において、
所定の事象を検出するための検出手段と、
前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御を行う第1制御手段と、
前記第1制御手段からの信号に応じた制御を行う第2制御手段と、
第1態様と第2態様とに変化可能である可動役物と、
前記可動役物に設けられ、発光した第1状態と第2状態とに発光状態を変化可能である
第1発光領域と、
前記可動役物と異なる複数の部位のうちの少なくとも一つに設けられ、発光した第1状態と第2状態とに発光状態を変化可能である第2発光領域と、
所定の変動演出を実行可能である表示手段と、
を備え、

30

前記変動演出において、前記表示手段の画面に表示される第1画像と、前記第1画像が変化して画面に表示される第2画像とに変化可能であり、

前記第2画像に変化する前記変動演出が行われるととき、前記第1発光領域と前記第2発光領域のうちの少なくとも1つとを連係して前記第2状態に変化する発光演出が実行可能であり、

前記第1画像から前記第2画像に変化するまでの第1期間と、前記第2画像から前記第1画像に変化するまでの第2期間との長さが異なっており、

前記検出手段は、

遊技媒体を検出するための第1検出手段と、
所定の異常を検出するための第2検出手段と、を含み、
前記遊技機への電源供給が開始されると前記表示手段に所定画像を表示した後に演出図柄を表示可能であり、

前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態である場合、異常報知を実行可能であり、

前記遊技機への電源供給中ににおいて前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態となった場合、異常報知を実行可能であり、

40

50

前記遊技機への電源供給中において前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態となつたことに基づく異常報知の実行中に、前記第1制御手段と前記第2検出手段とが接続状態となつた場合、所定期間にわたって当該異常報知が継続されることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

10

上記課題を解決するため、本発明の遊技機(1)によれば、遊技を行うことが可能な遊技機において、所定の事象(始動入賞、磁気、電波等)を検出するための検出手段(始動口検出スイッチ、磁気検出センサ、電波検出センサ等)と、前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御(大当たり判定、異常判定等)を行う第1制御手段(主制御基板110)と、前記第1制御手段からの信号に応じた制御を行う第2制御手段(演出制御基板130)と、第1態様(待機位置で停止)と第2態様(演出動作)とに変化可能である可動役物(可動部材73, 74)と、前記可動役物に設けられ、発光した第1状態(演出発光状態)と第2状態(例えば消灯)とに発光状態を変化可能である第1発光領域(HK1)と、前記可動役物と異なる複数の部位のうちの少なくとも一つに設けられ、発光した第1状態と第2状態とに発光状態を変化可能である第2発光領域(HK2)と、所定の変動演出を実行可能である表示手段(画像表示装置70, 71)と、備え、前記変動演出において、前記表示手段の画面に表示される第1画像(例えば通常表示の演出図柄70aなど)と、前記第1画像が変化して画面に表示される第2画像(例えばSV表示の演出図柄70a)とに変化可能であり、前記第2画像に変化する前記変動演出が行われるとき、前記第1発光領域と前記第2発光領域のうちの少なくとも1つとを連係して前記第2状態に変化する発光演出が実行可能であり、前記第1画像から前記第2画像に変化するまでの第1期間と、前記第2画像から前記第1画像に変化するまでの第2期間との長さが異なっており、前記検出手段は、遊技媒体を検出するための第1検出手段(始動口検出スイッチ等)と、所定の異常(磁気異常、電波異常)を検出するための第2検出手段(磁気検出センサ、電波検出センサ等)と、を含み、前記遊技機への電源供給が開始されると前記表示手段に所定画像(初期画面)を表示した後に演出図柄を表示可能であり、前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態(コネクタ抜け、断線等)である場合、異常報知(断線報知、磁気異常報知、電波異常報知等)を実行可能であり、前記遊技機への電源供給中において前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態(コネクタ抜け、断線等)となつた場合、異常報知(磁気異常報知、電波異常報知等)を実行可能であり、前記遊技機への電源供給中において前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態となつたことに基づく異常報知の実行中に、前記第1制御手段と前記第2検出手段とが接続状態となつた場合、所定期間(30秒経過、電源OFFまで等)にわたって当該異常報知が継続されることを特徴とする。

20

30

40

50